

中津小学校 教育目標
「一人ひとりが輝き、安心して学び、つながり、挑戦する 笑顔あふれる学校・家庭・地域に」

学校・家庭・地域での子どもの様子をアセスメントしながら、寄り添い、つながり、互いに学び合いながら、双方向の関係性の中で教育活動をすすめ、教職員全員が以下の重点目標を意識し、安全で安心、魅力ある温かく強いそして楽しい学校づくりに努めてまいります。

学校は家庭・地域との連携の中で、子どもたちはもちろんのこと、この中津小学校に関わるすべての人たちが自尊感情を高め、自己有用感に包まれるような学校経営に努め、自己選択・自己決定ができる、学び・つながり・挑戦する学級・学年・学習集団、子どもたちを育成していきます。

具体的な8つの目標

- ・ 出会いを大切にする
- ・ あたたかいあいさつを心掛ける
- ・ しずかをつくる
- ・ ルールをまもる
- ・ なかまをたいせつにする
- ・ 最後まであきらめずにがんばる
- ・ 夢や目標をもつ
- ・ 挑戦する

1. これからの社会を生きる力を育む 茨木っ子プラン ネクスト 5.0

- ・ 非認知能力の育成 特別活動・総合的な学習の時間（生活科）の充実

名称	定義	目指す姿
ゆめ力	未来に向かって、 努力できる力	夢や目標を持つことができる（目標設定）
		夢や目標に向けて挑戦することができる(チャレンジ)
		あきらめず最後まで取り組むことができる（継続・レジリエンス）
自分力	自分と向き合い、 高める力	自分のことを肯定的にとらえることができる（自尊心・自己有用感）
		自分の感情をコントロールすることができる（自己抑制）
		自分の考えや判断に自信を持つことができる(自信)
つながり力	他者を思いやり、 つながる力	他者と協力して取り組むことができる(協力)
		他者の意見や考えを受け入れることができる(リスペクト)
		自分の考えや気持ちを他者に伝えることができる(コミュニケーション)
学び力	興味関心を広げ、 意欲的に学ぶ力	様々なことに興味関心を持つことができる(興味関心)
		疑問や不思議に感じたことを解決するために行動することができる(課題解決)
		学びや経験を新しい考えや行動につなげることができる（振り返り力）

- ・ こころの居場所の確保
不登校児童が信頼できる大人（教職員）との関わりの中で「こころの居場所」を見つける取組みの推進
- ・ 家庭・地域との支援・連携関係のより一層の充実

2. とともに学びともに育つ教育を進める 茨木っ子プラン ネクスト 5.0

- ・ 支援教育の観点を全ての教育活動の基盤とする。
- ・ 全ての子どもが、学びたい、学びやすいと思うことのできる安心・安全な教室・授業づくり
- ・ 障がいの状況に応じた指導支援の工夫、自立活動を取り入れた教育活動の一層の充実
- ・ 通常の学級における一人ひとりの子どもの発達や特性を理解した指導と支援
- ・ 障がいについて理解を深める教育、集団づくりの推進、人権が尊重された教育の推進

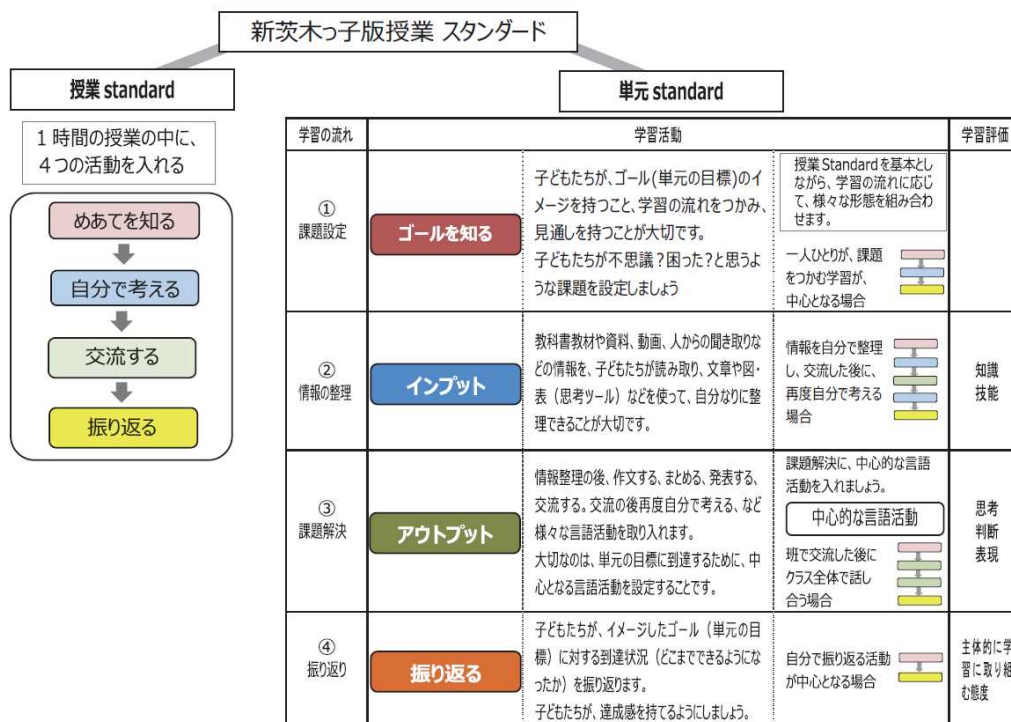
3. 確かな言語力を育む

茨木っ子プラン ネクスト 5.0

- ・言語力向上のための授業研究の推進
- ・文章を理解して読み取る力、要約する力、自分の考えをまとめて書く力の育成
- ・外国語教育において主体的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度の育成

4. 確かな学力を育む

茨木っ子プラン ネクスト 5.0



- ・授業の中で小さな成功体験をしっかり積み上げて、自己肯定感・自己有用感、学びに対する意欲・体力を高めていく。
- ・研究教科 国語 研究テーマ「自分の考えや思いを言葉や文字で表す力を育む」
系統性 領域 発達段階 生活経験 教材研究による指導内容の精選・工夫 問いの設定を行う
- ・学習ツール (ICT 機器・教育ネットワーク、ドリルパーク、ホワイトボード等) を活用した授業づくり、
- ・個に応じたていねいな学習支援 (意欲を育む学習内容、わからない (たすけて) が言える教室環境)
- ・授業づくり、学習改善につながる「指導と評価の一体化」

5. 人権教育の推進

茨木っ子プラン ネクスト 5.0

- ・豊かな人権感覚や自尊感情、自己肯定感を育む教育活動、一人ひとりが大切にされる集団づくりの推進
- ・様々な人権課題 (人権三法、多文化共生、平和、LGBTQ など) に関する教育の推進
- ・子どもの言動の背景を理解し、考え、共有し、課題解決に向けて組織的に取り組む

6. 安全・安心な学校で在り続けるために

- ・防災教育の推進・危機管理マニュアルの点検・改善
- ・各種アレルギーの事故未然防止のための組織体制の構築
- ・各種訓練の実施
- ・業務改善・働き方改革に取り組み、校務全般・学校行事等の見直し、改善を図る
- ・インターネットや SNS との上手な付き合い方について、子どもたち自身が考える取組みを行う